



## 栗原市空間線量率の測定

石井慶造、石崎梓、新井宏受、寺川貴樹、松山成男、菊池洋平、櫻田喬雄、長久保和義

東北大学大学院工学研究科  
生活環境早期復旧技術研究センター

### 1. 目的

栗原市有壁地区荻野小学校の近辺の空間線量率を、学校、通学路、自宅について測定し、その評価を行う。

### 2. 方法

NaIサーベーターを用いて、空間線量率を測定する。

### 3. 結果（平成24年11月16日発表）

高さ50cmでの測定結果を下に示す。

- 1) 校舎内：平均0.07マイクロシーベルト毎時
- 2) 校庭：平均0.11マイクロシーベルト毎時
- 3) 通学路：平均0.19マイクロシーベルト毎時
- 4) 自宅：平均0.085マイクロシーベルト毎時

校舎7時間、校庭1時間、通学時1時間、自宅12時間と仮定すると、自然からのガンマ線の被曝を含めた外部被曝線量が計算でき、その結果は1年間で0.66ミリシーベルトと計算される。

作成者：石井慶造